

| No. | 実施大学 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位数 | 開講区分 | 曜日 | 予定回数 | 時間 | 実施場所 | 定員 |
|-----|--------|-------|------------------|-----|------|----|------|----|--------|----|
| 29 | 東京純心大学 | 災害看護学 | 山本 君子 看護学部 教授 | 1 | 後期 | | 8 | | 東京純心大学 | 5 |

【到達目標】

1. 災害医療・災害看護の歴史の変遷の概要を説明できる。
2. 災害の種類、疾病構造および災害サイクルにおける各フェーズの特徴について説明できる。
3. 災害に関する社会の対応や仕組みについて説明できる。
4. 災害サイクルに応じた看護の役割と看護活動について説明できる。
5. 災害発生時の初期行動、トリアージの原則と方法について説明できる。
6. 被災者および救護者の災害によるストレスとその対処法について説明できる。
7. 災害に備え看護専門職としての取り組みについて自己の考えを表現できる。

【授業の概要】

災害時の医療・看護活動の歴史的背景をふまえ基盤となる法的根拠、災害対策及び災害時の救護活動に必要な基本的知識と方法を学修する。また、刻々と変化する状況下で看護職が果たす役割、医療チームにおける他職種との連携・協働のあり方について考える。災害直後・初期に発生する被災者の健康・生活上の問題、被災者にもたらす中・長期的な身体的、心理的、社会的な影響など、災害が人々の健康と生活へ及ぼす影響について理解を深め、災害時における看護の特徴、人間関係づくり、環境調整などを含めた看護の提供方法について学ぶ。

日本を含め、世界各地で災害が頻発する中、看護職としてどのように考え行動・支援することが必要なのか、また防災の備えとして学生自身の体験や地域の防災対策などについて、日頃から関心を高め、今後の災害看護のあり方について考察する。

【授業内容】

1. コースガイダンス
災害医療活動、災害看護の概要
 1. 災害・災害看護の歴史的歩みと今日的課題
 2. 災害看護の基礎
災害とは・災害の種類と疾病構造・災害サイクル・災害関連死とは
避難行動要支援者への支援
*災害救助・避難所の現場、DMATの活動場面などの動画や写真等を視聴する。
2. 災害発生時の社会の対応やしぐみ
 1. 災害に関する法制度
 2. 災害情報と伝達のしぐみ
 3. 災害関係各機関の支援体制
3. 災害各期における看護活動
 1. 災害サイクル各期における看護活動
 2. 在宅療養・避難所・応急仮設住宅・災害公営住宅（災害復興住宅）における看護活動
 3. 避難生活の課題とその対策：避難所や車中避難における健康、生活上の課題とその対策など
*DMAT活動場面の動画、写真等を視聴する。
4. 病院における災害看護 ～災害発生時、看護師の情報・判断・行動は？～
 1. 病院における災害の備え
 2. 災害発生時の病院における災害時の初動体制
 3. 災害訓練
5. 5-1 災害発生時に必要な技術
 1. 災害時の医療救護活動の基本：CSCATTT
 2. 災害時のトリアージ：一次（START法）・二次
 3. 災害時の治療・搬送
5-2 演習：トリアージの実際（体育館にて）
被災者、トリアージ担当者、記録者の3者の役割を交代で体験する
トリアージタグは、訓練用を用いる。
*演習は体育館にて行う。動きやすい服装で演習に臨む。
6. 災害とこころのケア
 1. 被災者のストレスと心のケア
 2. 援助者のストレスと心のケア
7. 災害看護における倫理原則の考え方
 1. 災害看護における倫理原則の基本的な考え方
 2. 災害看護に期待される能力
 3. 災害看護の理論の活用
8. 災害の備えと連携
 1. 地域住民との連携やボランティア活動
 2. 日頃から取り組む防災・減災 グループ・ディスカッション
まとめ

【成績評価方法】

筆記試験（70%）、レポート（20%）、グループ・ワーク（10%）により、総合的に評価

【筆記試験】：災害の種類、フェーズ、関係法規等に関する基本的知識、災害医療活動と看護の知識に関すること、災害発生時の対応技術の知識に関することを問う。

【レポート評価基準（ループリック）】：①課題に沿ったタイトルが設定されている、②内容に一貫性があり、論理的にわかりやすく表現されている、③設定した問題の背景を説明している（体験に基づいた内容である）、④考察が文献の引用等により深められている、⑤文章の体裁・表現は適切である（段落、句読点、主部と述部、文体、誤字・脱字、指定様式等）、の5項目について評価する。提出期日を厳守すること。提出遅延時は減点対象とする。なお、剽窃行為は禁止されているので注意すること。

【グループ・ワーク（GW）・演習評価（ループリック）】：災害看護に必要な技術演習（トリアージ演習）への取り組み姿勢・意欲、協調性を踏まえ、総合的に評価する。

【教科書】

・酒井明子、菊池志津子編集、災害看護学 看護の専門知識を統合して実践につなげる、改訂第3版、南江堂、2020.

【参考書、教材等】

- ・浦田喜久子，小原真理子，看護の統合と実践〈3〉災害看護学・国際看護学（系統看護学講座 統合分野），医学書院，2015.
- ・酒井明子編集，災害看護（ナースィング・グラフィカー看護の統合と実践(3)），第4版，メディカ出版，2016.
- ・山崎達枝著・監修，：災害現場でのトリアージと応急処置，日本看護協会出版会，2013.
- ・小原 真理子，酒井 明子共著，災害看護学，心得ておきたい基本的な知識，第2版，南山堂，2012.

※ 初回の授業については、学務課にお問い合わせください。